



前半のご報告

コミュニケーションの発展

自己紹介

皆様始めまして。2022 年度前期 OSGS プログラムに参加しています、廣田優理です。現在は埼玉県内の公立中学に通う中学 3 年生です。今年の 8 月からこのプログラムに参加しており、4 回目のオンライン授業が終わったところでこのレポートを書いています。実際に授業が行われるまでは不安もありましたが、優しい先生方やクラスメイト、現地のペアとの交流を通して臆することなく発言できるようになってきました。これからも最後のプレゼンテーションまで頑張ります。

トピックの紹介

今回の OSGS プログラムのテーマは“More than words”です。これをオランダの社会心理学者ホフステットの 6 次元モデルに基づき、日本とアメリカの文化の違いを知っていくというタスクとなっています。文化という曖昧なトピックに対してこの 6 次元モデルに基づき、現在は、自分たちの生きる社会、生活の中から感じる例を取り上げてペアワークを通して深めていく活動を行っています。

OSGS プログラムについて

OSGS プログラムは、2 週間に 1 度オンラインで行われ、フィンドレー大学のグレッグ先生と繋がります。第 1 回の授業で現地の大学生とペアを組み、活動を開始しました。私が興味を持った授業は、ペアとのコミュニケーションを図るにあたってどのような点に気を付けたいのか、日本とアメリカのコミュニケーション方法の基本的な違いについてです。相槌のタイミングやマナー、タブーなどを知り、ペアとの交流もスムーズになり、より深く話せるようになりました。これは、今後の探究活動にとっても生きる経験になりました。

日本からの参加者は私を含めた中学生 2 人、大学生 2 人、社会人 1 人の 5 名です。普段関わりの少ない、同世代でも親世代でもない年齢層であることから、新しい発見や考え、今の日本の社会の実態を新しい視点からの意見として知ることができ、毎回とても楽しみにしています。

毎回の交流が 全て新鮮



01 Power Distance

02 ペアとの活動

03 振り返り

右上の写真は Meet friends around the world!!!という番外編のような回です。この回は日本、アメリカのメンバーだけではなく、バングラデシュの方が3名参加しました。私にとって初めての交流だったため緊張しました。緊張のためうまく言葉がでなかったり言いたいこと、聞きたいことが言えなかったりということも多々ありましたが、川村先生やバングラデシュからの皆さんが優しく、何とか少しは発言できました。ここではアメリカとはまた違う新たなコミュニケーションの特徴があり興味深かったです。また、ホフステードのテーマに対してもお話が聞けました。また別の視点からの考えも取り入れられ、一気に自分の世界が広がったように感じます。

Power Distance

今季のテーマであるホフステードの6次元モデルのうち私とペアの Taber は Power Distance を担当しています。Power Distance とは端的に言うと権力格差です。例えば先生と生徒、上司と部下、政府と国民や家族間など様々なシチュエーションを例に挙げ、アメリカではどんな差が、日本ではどんな差があるのかをそれぞれ考えています。

ペアとの活動

ペアの Taber とは主に Snapchat や Instagram で連絡を取っています。はじめは文字でのやり取りが多かったのですが、週に1度アプリ上でビデオコールをするようになりました。比較的年齢の近い Taber とはとても話やすく、テーマについてはもちろん、自分の好きなこと、お互いやお互いの国について気になることなど幅広い話題で毎回1時間程お話をします。アメリカと日本の権力格差については似ているところ、全く異なるところなど2人で話していて2人同時に驚くようなこともあり、毎週楽しみで仕方がありません。

気づいたこと・振り返り

授業が始まってすぐは、日本の感覚でミュートにしてにこにこしているだけだった私も、常にマイクをつけて実際に全員がその場にいるような雰囲気の中で発言ができるようになったことには自分でも驚いています。グレッグ先生や川村先生が振ってくださる話題に対して意見を言ったり聞いたり、かなりアクティブな授業ですが、少人数で行われるため、常に自分の考えを持つことが必要だと改めて感じています。普段はルールに従って物事をこなす生活でしたが、この数回の授業を通して様々なことに対して自分の考えを持つことで、表面的な話し合い、確認作業のような時間にならず、より深い、意味のある話し合いにできます。こういった経験を得た現在は Taber とのビデオコールの前にも何を話そうか、どんな事を自分の意見として言おうかなどよく考えるようになり、以前より具体的な話し合いができていているように感じます。数回の授業とペアワークで知識だけではなく多くのものを吸収できています。残りあと3か月と少しになってしまいましたが楽しみつつ、より多くのことを学べるように努力していきます。

埼玉親善大使について

OSGS プログラムに参加するにあたって埼玉親善大使に委嘱していただきましたが、まだ活発な活動ができていない状況にあります。以前の OSGS 参加者の方々による活動が SNS に報告されており、自分たちも何ができるかを考えているところです。他の日本からの参加メンバーと連絡を取り、何らかの形で埼玉県に貢献できたらと思っています。